



当初予算等を可決し、定例会が閉会

3月12日に、総額4,924億円の令和8年度当初予算などを可決し、2月定例会が閉会しました。新年度予算については、来月号で詳しく取り上げます。

質問戦では、25名の議員が質問に立ち、新年度予算の編成方針について、丸山知事に見解を質したほか、衆議院総選挙の結果や高市内閣の政策に対する期待などについて論戦が交わされました。また、交通事故や信号柱などの倒壊が県内で相次ぐことから、信号柱や横断歩道を含む道路標示などの交通安全施設の補修、維持管理については、私を含め多数の議員が取り上げました。住民の安全・安心に関わる問題であり、緊急点検などを踏まえた適切な対応が求められます。私も地域の状況をしっかり把握し、修繕や対応が必要な箇所については、管理者に対応を求めて行きたいと思います。

令和8年4月組織改正

■ 島根かみあり国スポ・全スポ局の設置

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた体制を強化するために設置（環境生活部からスポーツ振興課を移管し、全スポ・パラスポーツ振興室を設置）

■ 原子力立地対策室の廃止（防災部原子力安全対策課）

避難対策の実効性向上のための事業が計画から実施段階へ移行したことに伴い、関連業務と一体的に進めるため係に再編

■ 獣医衛生管理室の設置（健康福祉部薬事衛生課）

獣医師が関わる衛生業務について体制を強化

■ 東部家畜保健衛生所の設置（農林水産部）

県東部における家畜保健衛生業務に係る体制の強化と業務の効率化を図るため、松江家畜保健衛生所と出雲家畜保健衛生所を再編

2月定例会ではこんなことが決まりました

■ 令和8年度一般会計予算

■ 令和7年度一般会計補正予算

第11号・・・国の経済対策を活用した物価高騰対策など285億円
第12号・・・事業費の確定などにより総額155億円を減額

■ 県立高等学校教育振興基金条例

県立高校の魅力化の取組の促進等に要する経費に充てるための基金を設置

■ 放課後児童クラブの充実を求める意見書

■ 教育長任命の同意

野津建二教育長の後任に井手久武氏（県政策企画局長）を選任するもの



2月定例会一般質問 石見地域が抱える諸課題への対応について

【問】 新年度予算における石見地域が抱える諸課題への対応状況とそのねらいについて伺う。

【答】 人口減少は県全体で取り組むべき課題であり、県全体での取組に加え、それぞれの地域課題に応じた対応や特色を生かした取組も行ってる。石見地域では、県立西部高等技術校における職業能力開発短期大学校の新設準備や、DXコーディネーターを県西部にも配置し、各企業のデジタル化の取組を進めていきたい。また、山陰道延伸に併せて、貸切りバスを利用して石見地域を宿泊する旅行商品の造成に対する支援を拡充するなどして誘客促進に取り組んでいきたい。

【問】 均衡ある県土の発展に向けて石見地域振興を加速する必要があると考えるが所見を伺う。

【答】 来月には山陰道の三隅遠田間が開通予定で、広域的な企業活動や遠方からの観光誘客が可能となり石見地域の振興に寄与する取組を進めていきたい。山陽地域との近さを生かして観光誘客や販路拡大などにも取り組んでいく。また、各地域の固有の産業や文化、歴史を活用する取組を進めることで、県西部の振興を力強く進めていきたい。一方で、県東部においても、中心部以外では、石見地域と変わらない状況であり、人口減少が進む地域に対する対応、振興を全体として図っていきたい。

竹島の日記念式典が開催されました



21回目となる竹島の日記念式典



竹島問題を語る国民交流会

2月22日に、21回目となる「竹島の日記念式典」が開催されました。式典に先立ち、竹島領土権確立島根県議会議員連盟が主催する「国民交流会」が開かれました。私も教育をテーマとした班で議論を行いました。学習指導要領において、竹島問題を領土問題として位置付け、学校教育で扱われるようになったことは前進ですが、社会教育における理解促進が必要との意見がありました。

2月定例会一般質問 交通安全施設整備の効率的な維持修繕について

【問】交通安全施設整備に関する予算によって劣化や摩耗した県内の道路標示の補修を網羅できているのか、道路標示の補修の現状と課題を伺う。

【答】令和6年度の道路標示の整備、補修に係る予算は約9,000万円であり、劣化や摩耗している道路標示を速やかに補修できるよう尽力している。現在、横断歩道の劣化状況をよりきめ細やかに把握するため、緊急点検を県内全域で行っており、この結果を踏まえ、迅速かつ計画的に対応することに力を尽くしていく。今後の課題としては、今年度比で約3,000万円の増額を見込んでいるが、この予算をより有効活用できるよう、各道路管理者との共同も積極的に進めていくことも必要であると考えている。その中でも、同時施工によるコストの縮減や契約の合理化といった利点を生かしながら、一か所でも多く道路標示を補修できるよう努力していく。

【問】横断歩道や停止線等の道路標示は警察、区画選等は道路管理者が管理しており、連携して効率的な修繕を行う必要があると考えるが所見を伺う。

【答】これまで各々で修繕を行ってきたことから、特にこれらが混在する交差点では、各管理者間の連携に課題があると考えている。このため、国土交通省、NEXCO西日本、県警察、島根県で構成する島根県路面標示等連絡調整会議を昨年8月に立ち上げ、交差点などにおいて路面標示の修繕を同時に施工する取組を進めていくこととした。今年度は松江市、出雲市で、路面標示の修繕を同時施工を行っており、安全性の一体的な向上、工事に伴う規制期間の短縮、交通誘導員の削減等によるコストの縮減といった効果が確認された。来年度以降、他の地域にも拡大していきたいと考えており、路面標示の修繕が一層効率的で効果的なものとなるよう取り組んでいく。

2月定例会一般質問 学校給費食費の抜本的な負担軽減について

令和8年4月より、公立小学校の給食費を対象に、一人当たり月額5,200円を基準支援額に設定し、国が財源を負担する学校給食費の抜本的な負担軽減策をスタートします。県が役割を果たすよう指摘しました。

【問】居住する自治体によって子育て世帯の負担に大きな差が生じることとは、保護者の不安や不公平感につながりかねない。1人当たり月額5,200円を基準とする支援額を超える給食費分についての取扱いについては、県内自治体間においても差が生じる可能性がある。保護者の負担額に大きな差がでないようにすることができないか伺う。

【答】月額5,200円の基準額を超える部分の対応については市町村の考えによって異なってくるが、結果的に保護者負担に多少の差が生じたとしても、これまでよりも確実に負担が軽減されるので、県として基準額を超える部分についての支援を行う考えはない。



島根県議会議員 坪内涼二事務所

〒695-0016 島根県江津市嘉久志町イ1229-8
TEL: 0855(52)7511
FAX: 0855(52)7510
MAIL: tsubo.0930@gmail.com

情報発信はこちらから

